

めざそう未来の科学者 SSリーグ (Super Science League)

SSリーグでは生徒の自主性を重んじ、小学生から高校生までの個人研究に対し、各生徒に合わせた個別指導を行っている

- ・各生徒に教員一名、大学院生T A一名をチューターとして配属
- ・メーリングリストによる継続的かつきめ細やかなサポート
- ・実習により大学レベルの教育体験とにSSリーグ生同士のつながりを形成
- ・研究機関訪問による最先端研究体験

■SSリーグとは？

筑波大学生物学類は平成20年に「未来の科学者養成講座」に採択され、「めざそう未来の生物学者！BSリーグ (Biological Science League)」を始めた。平成23年度からは、対象分野を広げ、物理学類・化学類・地球学類とともに「スーパーサイエンスリーグ～めざそう未来の科学者～」として、未来の科学者の育成を行っている。

■SSリーグのミッション

主体的に疑問を見つけ、研究課題を提案し、自ら考えたアイデア・手法によってその問題を解決する能力を有する独創的な研究者の育成

■SSリーグの特徴

【リーグ制】

三段階の選抜により真に熱意があり、科学的思考力のある生徒を見極めるために、リーグ制をとる。

【個別サポート】

生徒の独自研究テーマに合わせた教員と大学院生を配置し、個別にきめやかに研究をサポートする。生徒自身が、家庭や所属学校で主体的に研究を行うことが基本であり、教員や大学院生は主にメーリングリストを使って研究に対するアドバイスを行う。

【合宿形式の実習】

夏と冬に合宿形式の実習を行うことで、リーグ生の横のつながりを醸成。実際の研究施設で実験を行い、教員や大学院生と寝食を共にすることで、研究をすることの理解深める。

【つくば科学研究コンテスト】

SSリーグの昇格審査を兼ねて、毎年3月に茨城県教育庁と共催で「つくば科学研究コンテスト兼茨城県高校生科学研究発表会」を開催。小学生から高校生まで500名以上が参加。科学研究を行う小学生から大学院生までが一堂に会する場となっている。

■取組の成果

「高校生技術チャレンジ2013」でSS1生の林靖人さんが文部科学大臣賞受賞。ISEF2014に派遣決定。

日本学生科学賞中学生の部ではSSリーグ生の文部科学大臣賞および環境大臣賞を受賞。

このほか、日本国内のコンテストにおいて、多数の受講生が素晴らしい成績を収めており、全国紙やNHK等でもSSリーグの取り組みが紹介されている。



朝日新聞 2013.12.24



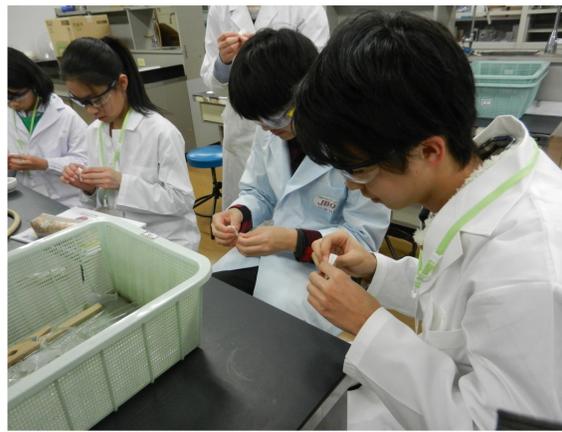
読売新聞 2014.5.5



JST News 2014年4月号



菅平高原実験センターでのフィールド実習



つくばキャンパスでの化学実験



つくば科学研究コンテストの様子